

「ミニ探究社会科学～地域の課題に対して解決策を考える～」

前回の時間に考えた「地域の課題を解決するアイデア」について更に踏み込んで考えてみましょう(前回そこまで進んでいないグループはまずはそちらを行ってください)。アイデアの実現可能性が高ければ高いほど、また有用性が高ければ高いほどいいので、深く検証できるように学んでいきましょう。

1. ミニ探究(グループ)

Step1 課題を解決している地方自治体や企業の先行事例を探してみましょう

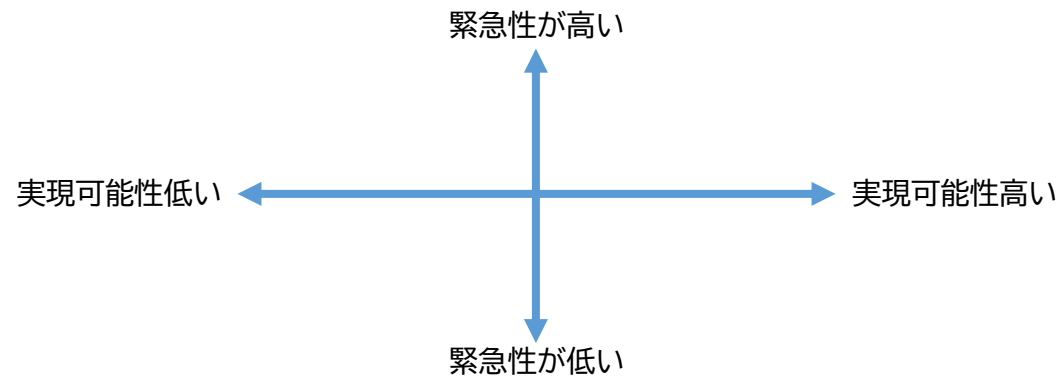
事例

解決されていること

解決されていないこと

Step2 アイデアを実現するための手段が現実に可能か調べてみましょう

☆皆さんが考えたアイデアはどの位置? 座標に書き入れてみましょう



※もし緊急性が低くて実現可能性が低い場合は、アイデアを練り直してみよう

Step3 考えたアイデアに対して実現するための壁(障害)や問題点は何だろう?

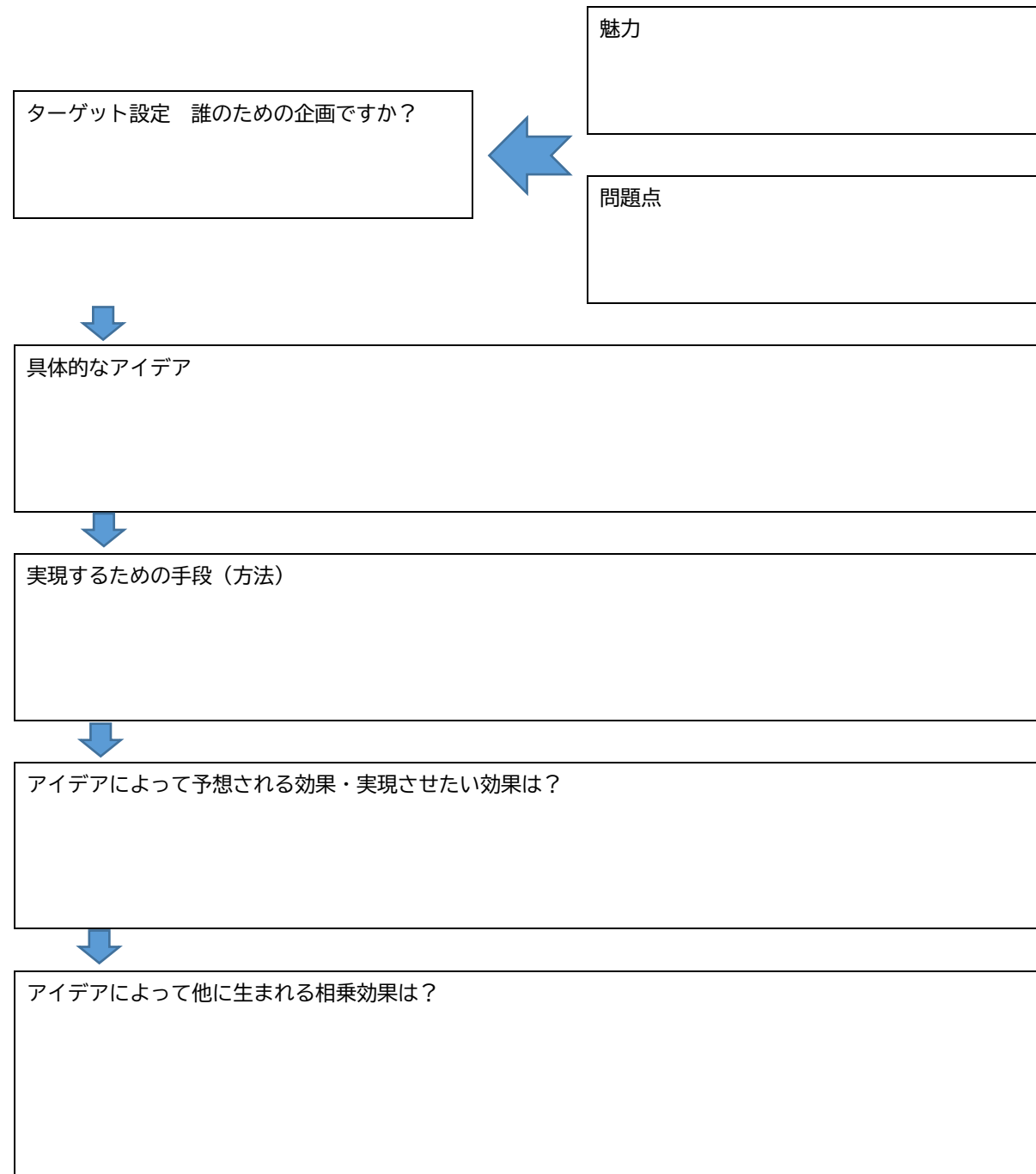
Step4 アイデアの根拠を見つけよう。

- ・ Resas などを利用してデータを収集しよう  
(データはたつの市の HP や総務省の統計調査データも活用できます)
- ・ 地域に住む人にインタビューなどをして、自分たちのアイデアに需要があるか市場調査を行ってみよう

データが分かるグラフや表を記入するか、タブレットに保存しておこう

Step5 アイデアを整理しましょう

Step2~4 の検証を踏まえてアイデアを整理してみよう



☆新しい組み合わせで価値を生み出す方法


(抜粋)「イノベーション」という言葉を聞いたことはありますか?今から100年以上前に、経済学者のシュンペーターによって提唱された概念です。その当時は、「イノベーション」ではなく、「ニューコンビネーション」という言葉が用いられました。イノベーションは「技術革新」と訳されることが多いですが、そもそもは、「新たなつながり, 新結合」という表現をされていたのです。

新結合とは、ある「モノ, もしくはコト」と、別の「モノ, もしくはコト」をこれまでにない組み合わせでつなげて価値を生み出すということです。結合という用語は、元々、科学や数学で使われていましたが、情報技術の進歩によって社会にもその重要性が高まってきました。そして、そこで新しい価値が生み出されます。

既存のつながりを分解し、片方を少し変化させてつなぎ直すことも新結合の1つです。例えばタピオカミルクティーのお茶を紅茶から抹茶に変えたとしましょう。そうすると、新たな商品が生まれます。つなげることは、イノベーションの始まりです。

もちろん、いたずらに何もかもつなげればよいというものではありません。まず、つなげようとしているモノ・コトに、どのような魅力や課題があるか分析する必要があります。魅力があるのにあまり活用されていないものや広まらないものは、課題を取り除くことでより多くの人に魅力が伝わるようになります。どのような魅力があるのか。それをもっと生かすためにはどのような課題を解決すべきか。これらが鮮明になり、課題を解決する魅力を持つモノ・コトがかけ合せられたとき、新結合は起こります。

例) コインランドリー喫茶



**魅力**

- どのような天候でも洗濯・乾燥ができる
- どのような時間帯でも洗濯・乾燥ができる

**課題**

- 乾くまでその場を離れにくい
- 順番待ちになることもある



**魅力**

- ゆっくりとした時間を飲み物とともに過ごすことができる
- 静かな空間で読書や軽作業を行うことができる



**起きた変化**

○飲み物を飲んだり, 読書や軽作業をしたり, 待つだけだった時間を有効活用できる。

(出典:『Locus Program 探究型ケーススタディワークブック』株式会社マイナビ)